

令和4年度「版画」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	美術科	美術	版画	2	選択
教科書	「WARM UP!」河合塾美術研究所				
副教材					

学習の目的

- 1 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。
- 2 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- 3 版画表現の可能性を追求する態度を養う。

学習の目標

I 【習得】の段階 知識・技能	版画の特性を理解し、技法の違いや効果、手順等を説明できる。
C 【活用】の段階 思考・判断・表現	版画の知識や技能を総合的に働かせて独創的に思考、判断し、表現できる。
E 【探究】の段階	版画を人生や社会の在り方と関連させながら、新たな意味や価値を生み出すことができる。

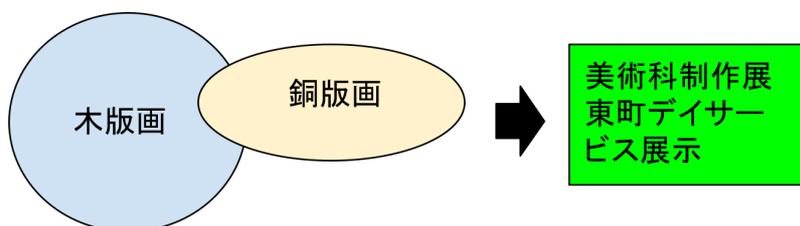
つ け たい 力	みつめる力	感じ取ったことや考えたことから、主題を生成し、表現の構想を練る力
	きわめる力	発想や構想を基に、材料や用具を生かし、創造的に表す力
	つなげる力	造形の要素の働きを理解し、イメージや作風、様式などで捉える力

評価方法

	I	C	E
◇ 主に作品(途中段階、完成段階)で知識及び技能の評価を行います。	○		
◇ エスキースとワークシートを基に主題の生成や構想、表現に向けた判断力等を評価します。	○	○	
◇ 進捗状況、グループワークの様子、自己評価等をもとに版画への関心・意欲・態度等を評価します。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 実習が中心の授業となります。指示された画材は各自で準備してください。専門の道具などは指導者の指示に従い、注意して手入れしてください。
- ◇ 授業以外にも制作時間を十分にとって、完成度を高めてください。
- ◇ 内容に応じて、他の専門科目と展開授業を行います。
- ◇ 制作終了時に講評会を行います。講評の際はメモを用意してください。
- ◇ エスキースや資料集め、動画視聴等の予習が必要な場合があります。指示に従って事前準備をしてください。



年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	関心 意欲 態度	思考 判断	知識 理解	技能 表現
第1学期	4	①版画の種類 ・凸版 ・凹版 ・孔版 ・平版 ②浮世絵木版の魅力	①版技法の仕組みと特徴を知り、様々な時代や地域において表現された版画の良さを感じ取り、理解する。 ②浮世絵版画の高度な技術や構成などから、日本の美術の素晴らしさなどを感じ取り、理解を深める。		・有名な画家も版画を制作しているのか？ ・そもそもなぜ版画で表現するのか？ ・当時の浮世絵はなぜ安価に販売されたのか？	○	○	○	
	5	【木版画演習】 ③主題の生成 ④下絵作成 ⑤彫り～刷り	③俳句や詩を基に主題を生成する。 ④形や構成を工夫して構想を練る。 ⑤材料や用具を生かして表現する。		・現代の社会では何がテーマになるか？ ・自刻字刷ならではのアレンジはどのようなものか？	○	○	○	○
	6	⑥展示～相互鑑賞 【銅版画演習Ⅰ】 ⑦主題の生成 ⑧下絵制作	⑥相互鑑賞で作者の意図や工夫を理解する。 ⑦独自の世界観を基に主題を生成する。 ⑧線描を生かして構想を練る。		・造形の要素はどうなっているか？ ・作風や様式はどのようになっているか？ ・自分の世界観を形成する要素は何か？	○	○	○	
	7	⑨製版～刷り ・エッチング ・アクアチント ⑩展示～相互鑑賞	⑨材料や用具を生かして表現する。 ⑩相互鑑賞で作者の意図や工夫を理解する。		・木版画との共通点と相違点を基に、自己の適性を分析すると？	○	○	○	○
第2学期	9	【銅版画演習Ⅱ】 ⑪主題の生成 ⑫下絵制作 ⑬製版～刷り ・メゾチント	⑪独自の世界観を基に主題を生成する。 ⑫モノトーンを生かして構想を練る。 ⑬材料や用具を生かして表現する。		・版表現の複数性をどのように生かせるか？	○	○	○	○
	10	⑭展示～相互鑑賞 ・美術科制作展	⑭相互鑑賞で作者の意図や工夫を理解する。		・生活や社会と作品をつなぐ接点をどこに見つけることができたか？	○	○	○	
	11	【版画探究】 ⑮版技法を生かした表現 ・ミクストメディア	⑮版技法を応用したり、組み合わせることで新たな表現の可能性を探る。		・間接技法のメリットとデメリットをどう使い分けるか？	○	○	○	○
	12	⑯プレゼンテーション	⑯これまでの学習を振り返り、ポートフォリオなどにまとめる。		・版画で得た新しい価値観とはどのようなものか？	○	○	○	
第3学期	1								
	2								
	3								

※行事等で変更になる場合があります。